

函館ラ・サール中学校 2024.2.3

## 掛語

ではバッチリ、いい点がとれるでしょう。 で習った英単語は全部覚えているなどというのが、それです。歴史の年代などもしっかり頭に入っていると、 大まかにい ・って、 学校で成績がよい人というのは、まず記憶力がすぐれていると見なされます。たとえば、 テスト

と、 らっきしだめという人もいます。 ですが、学校のテストの点は決してよくないけど、物覚えはいいという人は、いないでしょうか? 他人の顔をよく覚えている人。一度会ったら、絶対忘れないという人。逆に成績はよくても、そういうことは 一例をあげる

向 の能力が問われているわけです。方向音痴の人というのは、繰り返し経験しても覚えられない人です。といって、方 音痴 また、方向音痴というのも、記憶と関係しています。これは、前に行った場所へ、もう一度正しく行けるかどうか の人は学校のテストの点が悪いかというと、 1 そんなことはいえそうもありません。

などを、私たちは普通、「知識」と呼ぶわけです。 のは、 どこが違うかというと、忘れないでいる情報の種類が質的に異なっているのです。テストで測られる記憶力という 教科書に書かれてある情報がどれだけ頭に入り、 残っているかということです。そして本に書かれ

うということもなく、とくに意識しないままに日々の生活のなかで頭に入ってくるものでしょう。 での道順はどうだったかというのは、英単語の意味や歴史の年代のように体系だって教わるものではありません。ど 一方、以前出会ったことのある人がどんな顔つきをしていたかとか、前に連れて行ってもらった親せきの人の家ま

し悪しによって左右されます。 勉強しているのは 一般に、こういう状況で情報を覚えていくことを、「生活のなかの記憶」と呼んでいます。それに対して、学校でい。『ぱんだいます。それに対して、学校で 「知識に関する記憶」なのです。学校での成績はもっぱら、「知識に関する記憶」の能力だけのよ

「知識に関する記憶」と「生活のなかの記憶」は、 頭のなかに情報として入ってきたときの蓄えられ方に差があ

ることがわかっています。たとえば、こんな経験はありませんか。

とをいって、大爆笑になった。そのときの光景が目の前にまざまざと浮かんでくる。でも肝心の答えは、 ない。記憶の端に引っかかっているんだけど、でてこない……。 ていて、いつ習ったかということまで覚えている。先生がA君に答えさせたら、A君はとんでもなく見当はずれのこ テストで英作文の問題がでて、それが前にあなたが授業で習った問題だったとしましょう。習ったことはよく覚え

すが、「知識に関する記憶」は、残っていないのです。 こういうとき、 あなたの頭のなかには、習った場面についての「生活のなかの記憶」は完璧に保持されているので

これとまったく逆のケースもあります。

おかげで解き方が判明しました。クラス中を情報がかけめぐります。Xさんも式を(アンキしました。もう出題され てもだいじょうぶ。 も解き方のわからない問題があったとしましょう。試験の三日前になって、やっとA君がお兄さんに教えてもらった 数学の定期テストの出題範囲には、授業では教わらない問題集の二十ページ分が含まれ、なかに、だれもどうして

えを手に入れることにあまりに気をとられすぎて、なんとXさんはだれからそれを教わったのか、忘れてしまってい するとYさんから、「あの答え、あなたに教えたの私じゃない、もう忘れたの?」と切り返されてしまいました。答 テストの当日、Yさんに会ったので、Xさんは思わず「あの問題を解く式を教えようか」と声をかけました。

憶」は、すっかり消え去ってしまっていたことになります。 テストを前にして 「知識 に関する記憶」は、完全にXさんの頭のなかに入っていたのです。でも「生活のなかの記

活のなかの記憶」が残っているのに「知識に関する記憶」が忘れ去られた場合には、「つまらないことばかり覚えて かと思います。ところが(今日の社会では、周囲の評価はおのおのの忘却のパターンごとにまったく異なります。「生 上のことから、「忘却」という現象は、質的に二つのパターンに分類できることが、 納なっとく ( ) ただけたのでは

肝心なことを忘れてしまう」としかられることが多いでしょう。

いても、 あるのです。 てるほうが、 周囲は寛容です。それどころか「人間、全部覚えているような人は、 「知識に関する記憶」がしっかり保持されて [ 2 ] いれば、① [生活のなかの記憶] 愛きょうがある」といった具合に、忘却していることによって、 | a | 可解だとは思いませんか? むしろ評価が高くなったりすることも かた苦しくて仕方がない。 のほうが

から、方向音痴であっても笑ってすまされますが、英単語の覚えが悪いと大問題になってしまうのです。 どうしてこうなるかというと、現代の社会が「知識」というものをなにより尊重する風潮にあるからなのです。

せん。だから生活のなかで得られた情報であっても、 も、「知識」を獲得することに違いないのです。ところがいまの私たちは、もはやそうした能力をあまり必要としま ッテルを貼られること、間違いなしですよ。本当をいえば、自分が一度行った場所の地図を頭のなかにこしらえるのッテルを貼られること、間違いなしですよ。本当をいえば、自分が一度行った場所の地図を頭のなかにこしらえるの ましょう。そういう生活のなかで、もしも方向音痴であったとしたら、そんな人間こそ〝どうしようもない奴〞のレ いるのです。 考えてもみてください。私たちが、こんな科学技術の発達した社会ではなく、狩猟採集をして生活していたとし いわゆる「知識」ではないと区別されるようになってしまって

い、高等な能力によって獲得されることが明らかになっているのです。 でも、そもそも「生活のなかの記憶」がどう形成されるかというその過程は、やはり「知識に関する記憶」

きたいのです。 ものでしょうか。 ちょっと昔を振り返ってみてください。みなさんが覚えている記憶のなかで一番古いものは、いったいいつごろの つまり、 自分の記憶に残っている一番幼いころというのは、何歳ごろのことかを思いだしていただ

真偽のほどはともかく、ふつう常人では、 あり得ないことです。百人ぐらいの人に、 作家の三島由紀夫は 小 説のなかで、産湯につかったときの、タライの (3<u>-------</u>)を覚えていると書い 一番古い思い出をたずねても、 生まれて初めて歩いた日のことを記憶にとどめている、なんていうことは 答えは、だいたい三歳のころ、 てい せいぜい迷

子になったとか、ころんでケガをしたとかいった、 のぼることはできません。 断片的なエピソードに落ち着いてしまって、 それより過去にさか

まさに三歳ごろというわけです。 るからなのです。 つなぎあわせて初めて、情報は蓄えられるのです。そのお話を他人に話して聞かせることばの能力が獲得されるのが、 どうしてでしょうか。それは私たちが自分で経験したことを記憶として定着させるためには、 体験した内容を、「お話」にすることが求められるのです。 お話の筋に従って、 ことばが不可欠であ

ん。だから実際に、音として口から何度も繰り返し発した情報しか残っていかないのです。それゆえ、覚えているこ なかでつぶやいて、どんどん体験をお話に変えることができますが、ことばを習いたての子どもは、それができませ とは、少ないということになります。 のなかに残っています。話すことで記憶は形成されていきます。ただ大人は三歳児と違って、口にださなくとも心の てしばらくして、「今日はカレーライスを食べたよ」と語るように仕向けると、その翌日も、 三歳の子どもに「きのうのお昼に、なにを食べましたか」とたずねても、まず覚えていません。でも、昼食をとっ メニューは子どもの頭

は、 るにも、 らえられてしまうのです。 うのは言語的な記憶が理性的であるのに対し、感覚的とかフィーリング的というようなニュアンスと結びついて、と には、ことばによる情報の記憶とイメージ的な記憶があることには気づいていると思います。ただイメージ的な記憶 「知識に関する記憶」とか「生活のなかの記憶」といった区分は知らなくとも、 非言語的 やはり、ことばのはたらきが不可欠らしいのです。記憶の獲得のために必要な心の能力は、変わりません。 形式の過程 な情報と受けとめられがちですが、必ずしもそうとはいいきれません。イメージを心のなかに定着させ に目をやらずに、できあがってきた形式だけを表層的にとらえると、 そこからいくつか誤解が生じてきています。 人は多かれ少なかれ、 イメージ的な記憶とい 記憶の

うという考え方もあります。これは幼児の早期教育の基本をなす発想といえるでしょう。ことばはわからないかもし たとえば、②フィーリング的な記憶であるならば 本当に発達の初期から情報

す。 れないし、 話もできないけれど、絵を見せたり音を聴かせたりすることで、知識を教えこむことができるというので

のですから、 あげくのはては、零歳児に漢字を覚えさせたりします。漢字というのは象形文字で、もとはといえば絵みたいなも 零歳児といえ 3 | 興味は示すし、何度も繰り返して同じ漢字を見せれば「当面は」覚えます。

ているにすぎません。 なぜなら、 能力を養う方法を考えたほうが得策に思えます。だけど、早期教育に熱心な人は、そんなことには目もくれません。 きは覚えていても、 しかし、それはあくまでも「当面」の話にすぎないのです。すでに書いたように、ことばをもたない限り、そのと 知識の習得に熱意を注いでいるからです。イメージ的な記憶力も、 あとで全部忘れてしまうのです。本当に記憶力を早く(4)育みたいのなら、むしろ「お話」をする 知識を早く覚えこませるために利用し

と大差ないのです。 0 の能力のよし悪しが、学校での成績を大きく左右するからにほかなりません。でも、すでに書いてきたように「生活 いなかの記憶」だって、 では、 知識を増やすことにどうしてそんなに情熱を注ぐかというと、もうおわかりでしょう。「知識に関する記憶」 (3)情報の保持のために求められる私たちの能力という点に関しては、「知識に関する記憶」

こうして見てきますと、「生活のなかの記憶」というのは、ずいぶん不当に低く評価されているように思い ません

か。

将; の兄は頭があまりよくないので、東大へ行った」と発言して、話題になったことがありました。 ストの成績もクラスで優秀かというと、それはほとんど関係ありませんでした。あるプロの将棋棋士がかつて、「私 私は小学校に入学してから高校を卒業するまでの間、ずっと大阪の下町で学校生活を送ったのですが、そこでは (棋がずいぶん盛んでした。ご存じのとおり、将棋は大変に頭脳的なゲームです。だけど、 将棋 12 強い 生

このことから、将棋に必要な能力というのは、学校のテストではまったく測られないということが明らかでしょう。

」の能力と無縁だからなのです。

求められる才能が「

があるはずです。 「生活のなかの記憶」も「知識に関する記憶」と同じく、その形成にはことばの能力が深く関係していると書きま それぞれについて個々人で
(得手不得手がありますから、 双方で、 情報を蓄える方式にどこか相違

とです。どこか、特定の場所へ行くための地図を頭に入れることが、一番適当な例かもしれません 個人が、覚えなくてはならない情報をまず、「仏体でなぞってとりこむ」 ことが大切な役割を果たしているというこ 二種類の記憶の形成の過程で、どこが決定的に異なるかというと、「生活のなかの記憶」をつくるうえでは

感し、それをことばに変換することによって、覚えていくのだといえるでしょう。 で、記憶が定着していきます。なにか出来事が発生したとき、そこへまず自分自身が飛びこんでいく。飛びこんで実 全体で受けとった感覚が関与しています。そして、入ってきた感覚が織りこまれた「お話」を心のなかにつくること 頭のなかにおさまっています。そして、再び同じ場所へ向かうときには、その情報を現実と照合させるのです。 目的地に到達するまでの通りにあった店の看板、 蓄えられている情報は、必ずしも目から入ったものとは限りません。音、匂い、足で感じた道の感触など、 「方向感覚が鋭い」といわれる人は、一度目的地に連れて行ってもらうと、すぐに行き方を覚えてしまい 角の郵便ポストといった、さまざまな対象物が時間の流れに沿って 、ます。

ているのです。 法や数学の公式がそうであるように、向こうが示した理屈を、覚える側が いでしょう。ともかくそう決まっているのですから。 これに対し「知識に関する記憶」では、対象を冷静に眺めるなかで、情報が獲得されていくように思えます。 「英語の疑問文では、どうして主語と動詞の文中での位置が人れ替わるんだ?」と文句をいったって、仕方がな 問題は、そう決まっているものを受容できるかどうかにかか b | 条件に受け入れなくてはなりませ

をつくれる可能性が高いからです。 るのは得意かもしれません。 自己主張が強すぎると、 目的地までの道しるべとなるものを、 結果として、「知識に関する記憶」 学校での知識の習得には妨げとなってきます。 個性的にいろいろ見つけて、ユニークな「お話」 の能力は低いけれど、「生活のなかの記憶」の ただ、 そんな人でも道を覚え

能力は高い人間ができあがります。

ろ、⑤自我を捨てられる人のほうが、 くて、 不幸にして、このタイプの人は現行の学校の成績評価の方法では、ランクが低く位置づけられてしまいます。 落ち着いて対象を見られる人のほうが、 習ったことをよく記憶できるのです。自分が対象に同化しようとするのではな 知識の習得には向いているのかもしれません。

(正高信男『ヒトの本能ってなに?』より)

 $\overline{\phantom{a}}$ ----線部(1)「アンキ」、(3)「モクメ」を漢字に改め、(2)「今日」、(4)「育(み)」、(5)「得手」の読みをひらがなで答えなさい。

1 に入れる語として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

かなり イ まさに ウ まして エ およそ

T

 $\equiv$ 2 3 に入れるのに最も適当なひらがな二字の言葉を、それぞれ答えなさい。

(四 四 をくり返し用いてはいけません。 a b には「不」「無」「非」「未」のどれかが入ります。それぞれどれが入るか答えなさい。ただし、同じもの

즲 記号で答えなさい。ただし、解答の順番は問いません。 ~~~ 線部 「漢字というのは象形文字で、もとはといえば絵みたいなもの」とありますが、次の中から象形文字を二つ選び、

机

六 当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。 線 部① 「『生活のなかの記憶』 のほうが脱落していても、 周囲は寛容です」とありますが、それはなぜですか。 最も適

ジを親しみやすさに変えるはたらきがあるから。 「生活のなかの記憶」として蓄えられる情報が欠落していても、それは「知識」が豊富な人に抱きがちなかた苦しいイメー

1 だと考えられているから。 「生活のなかの記憶」として蓄えられる情報よりも、 科学技術を発達させるための 「知識」 の方が現代社会においては重要

ウ いるから。 「生活のなかの記憶」として蓄えられる情報は、 「知識」と比べてレベルの低いものであって、 価値などないと考えられて

工 「知識」とはみなされなくなってしまっているから。 「生活のなかの記憶」として蓄えられる情報は、 現代においては生きることや社会を便利で安全なものに保つことに関わる

- (七) には、 ア「生活のなかの記憶」、イ 「知識に関する記憶」のどちらが入りますか。記号で答えなさい。
- 八 メージ的な記憶をどのようなものと考えているからですか。本文中から七字でぬきだして答えなさい。 線部② 「フィーリング的な記憶であるならば、 可能だろうという考え方」とありますが、このように考えるのは、 イ
- 九 十字以内で説明しなさい。 線部③ 「情報の保持のために~私たちの能力」とありますが、これはどのような能力ですか。 本文中の言葉を用いて三

- $\widehat{+}$ 線部④「体でなぞってとりこむ」とありますが、このことの例として適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答
- ア 野球が上手になるように、技術解説書を何度もくり返し読み込む。

えなさい。

- イ 英語の発音が上手にできるように、何度もくり返して練習をする。
- ウ、大工仕事を覚えるために、先輩と同じことを見よう見まねでやってみる。
- エ 漢字を正しく書けるようにするために、何回も紙に書いて練習する。
- +ものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。 線部⑤「自我を捨てられる人のほうが、習ったことをよく記憶できる」とありますが、それはなぜですか。最も適当な
- ア 習ったことを記憶するにあたっては、教えてくれる人との信頼関係が重要であり、教えてもらったことに疑問を抱くのはそ

の信頼関係を損ねることにつながるから。

- 1 感じるかといったことは妨げにしかならないから。 習ったことを記憶するにあたっては、覚えなければならないとされることをそのまま覚えることが重要であり、 自分がどう
- ウ えることはその能率を下げることにつながるから。 習ったことを記憶するにあたっては、 習ったことをそのまま理解することが最も能率的であり、 自分なりに理解しようと考
- 工 いのかという理由は考えても仕方のないことだから。 習ったことを記憶するにあたっては、覚えるべきことをそのまま覚えることが重要であり、 なぜそれを覚えなければいけな

それを仕事始めの朝に小言を聞きながら食べた。もう何年も新年を母と一緒に迎えていなかったことを今更後悔して 住んでいて、毎日のように顔を合わせているのだから、特に家族と過ごそうとは思わなかったのだ。今年も正月は恋人 も遅い。もう二度と母の作るお節を食べることはできないのだ。 と南の島へ行き、仕事が始まる前日に慌ただしく帰国した。私の好きな数の子と伊達巻を母はとっておいてくれて、 急逝して三ヵ月がたった。 私はここ数年、まとまった休みのとれる年末年始は家をあけて海外で過ごすことが多かった。どうせ実家に 人間いつどうなるか分からないと理屈では知っていても、 母の死はあまりに しも突然

病院へ駆けつけた時にはもう母の瞼は固く閉じられていた。昨日までまったくいつも通りで、雛菊の霜よけなんか その日の昼過ぎ、会社に父親から電話がかかってきて、母の容態が急に悪くなったので帰って来いと言われ、慌てて を取り替えていたのに い父が会社を休んで母を病院へ連れて行った。私は確か「寒いのに庭いじりなんかするから風邪ひくのよ」と言った。 は成人の日の翌日だった。 朝、母は(寒気と頭痛がすると言い、定年(間近でもうそれほど仕事が忙 しくな

ただしく弔問客に頭を下げながら、どうして隣に母がいないのか不思議に思った。 ので、それをいかに合理的に片づけていくかでしばらくはあまり悲しい気持ちが湧いてこなかった。涙は出たのだ もちろんのこと、 ひとつ違いの弟が転勤先から急遽戻ってきて通夜と葬儀を行った。身近な人を亡くすのは初めてだったが、父はひとつ違いの弟が転勤先から急遽戻ってきて通夜と葬儀を行った。身近な人を亡くすのは初めてだったが、父は なんというか会社でトラブルに立ち向かう時の気持ちに似ていて、自分の母親の葬儀という気がしなかった。 私も弟も社会に出て十年近くたつので葬儀の段取りは分かっていたし、やることがいっぱい あった

のカーテンがかかった少女趣味の一軒家と、母の趣味で飾られた庭と、その住人としてはまったく似つかわしく 定年を迎えた父、 四十九日と納骨を終えると急にすることがなくなった。そこには母親の趣味で建てられた大きな(デマドにレース 働き盛りで家には寝に帰ってくるだけの娘が残された。弟はさっさと転勤先の大阪に帰ってしま

い音沙汰がなくなった。

「どうすんだ、この庭」

春のある休日、昼過ぎに起きだしてきた私に父が言った。

「どうするって?」

「こんなに咲いちゃって」

れていた。チューリップ、クロッカス、水仙、フリージア、あとは名前も知らない花々。 父も私も花になど興味がなかったのでじっくり見たことがなかったのだが、春の花壇には色とりどりの花が咲き乱

「お父さん、手入れすれば。時間あるんだし」

に、その上、父は定年後の長い時間を共に過ごすはずの母を失っているのだ。 寝ぼけ眼で軽く言ったあと、私は父の不機嫌な顔を見て①失言に気がついた。定年だけでも大きなストレスなの寝ばけ眼で軽く言ったあと、私は父の不機嫌な顔を見て①失言に気がついた。定年だけでも大きなストレスなの

「俺は花なんか興味ない。だいたいこんな家に娘とふたりで住んでるのもこっぱずかしいのに。どうだ、ここ売り払

ってそれぞれマンション買うか。その方が楽だ」

来なら母が引き受けるものだったのに、何故私が父の鬱憤をぶつけられなくてはならないのだろうと、少し天国の母来なら母が引き受けるものだったのに、何故私が父の鬱憤をぶつけられなくてはならないのだろうと、少し天国の母 ンの教室にでも通ってみたらと勧めたのだが「くだらない」の一言がかえってくるだけだった。だいたいこの役は本 たが、まったくその通りだ。ゴルフ以外趣味らしきものがない父は時間を持て余しているようなので、 を恨んだりもした。 殊更明るく父は言ったが、②私は曖昧に首を傾げておいた。定年後の父親ほど扱いにくいものはないと聞います。 料理やパソコ 7

仕事一筋で何も家のことはできない人かと思っていたが、やれば案外(4=1=1)にこなした。 何してたんだ」と言われることだった。 前は私の帰宅時間になどうるさくなかったのだが、今は頼みもしないのに夕飯を作って待っていて、いちいち「遅い、 それでも父は、母がいなくなった家でひとり、必要に迫られて掃除や洗濯、簡単な料理を自分でするようになった。 困ったことといえば、以

て帰った。 理をしなかった方がやる。 母がいなくなったことで、私の家事分担も当たり前だが増えた。下着なんかを父に洗濯させるのは クリーニング屋通いとアイロンかけは私の仕事になった。 私は会社が退けると父に電話をし、遅くまでやっている駅前のスーパーで必要な物を買っ 朝食は私が作り、 夕飯は父が作る。 その片づ а は料

何度か会社に遅刻したくらいだ。 こうして日常生活の役割分担がなんとなく決まっていった。そしていかに、私と父が母に多くの負担をかけ 逆に を知った。もう三十一歳にもなるというのに、私は起こしてくれる人がいなくなって ていた

一お前 付き合ってる男がいるんだろう。さっさと結婚しちまえ」

長年同じ家で暮らしてきたが、この人が本当はどう思っているのか今ひとつ分からなかった。 父はやけに老けて見えた。 庭の花を眺めながら父はなおも言った。私はそのカーディガンの背中を眺める。スーツやゴルフウェアでない姿の 私は母とはいろいろ話をしてきたが、父とは用事以外のことをあまり話したことがない。

「でもお父さん、 b 一で暮らせるの?」

「馬鹿言え。今でも そうだな、となんとなく思った。 b Aたいなもんだ」  $\blacksquare$ 

ラ 感覚からは程遠い。父が心配ではないといったら嘘だが、それこそ近所にマンションでも買って別々に住んだ方が、 のかもしれない。何しろ母の作り込んだ花いっぱいの庭だけは、ふたり共手入れをする気になれないのだから。 アシュレイの花柄の壁紙に囲まれて、無骨な父とがさつな娘が暮らすのは何か違う。ここは母の家だったのだ。 |とふたりで努力はしてきたが、一緒に暮らせて嬉しい \* □

クトメールのようだったので開けてみると、それはイギリスの観光局が日本人向けに作ったガーデニング講座ツアー 申込書だった。そういえば去年の暮れに「こんなのを見つけたから行ってみたい」と母からパンフレットを見せ 父が本気でマンションのモデルルームを見に行きだした五月のはじめ、ポストに母宛の封書が舞い 込んだ。 イレ

0

られた記憶がある。手紙を読むと母はもう予約金を振り込んでいて、あとは残金を支払うだけになっていた。半年もられた記憶がある。手紙を読むと母はもう予約金を振り込んでいて、あとは残金を支払うだけになっていた。半年も

前から申し込んでさぞ楽しみにしていたのだろう。 一応父にそれを見せると、煙草をくわえながら「③俺が行ってこようかな」と意外なことを言いだした。

「でもお父さん、それホームステイだよ」

「それがどうした」

はごめんだと言っていた。 父は飛行機と英語が大嫌いで、母に無理矢理連れられてハワイに一度行ったことがあるが、それでもう二度と外国

「それに、参加するのだってガーデニングおばさんばっかりだと思うな」 父は唇を尖らせて何やら考えた後、乱暴に申込書をテーブルに投げだした。

「あいつが楽しみにしてた旅行なんだから、俺が行って写真でも撮ってくる。どうせ暇だしな」

なるのだろう。これをきっかけに 父と母は趣味嗜好が合わず、あまり仲のいい夫婦とはいえなかったが、連れ合いを亡くしてみればそういう気にも  $\blacksquare$ || 私も助かるので、それ以上反対はしなかった。

うと、見事なバラ園や、その前に立つおばさま方に混じって仏頂面の父が立っていた。ホームステイ先で撮ったら た?」と尋ねても「ガーデニングばばあがいっぱい来てた」と憎まれ 🔲 C 📗 を叩くだけだった。写真を見せてもら しい、外国人家庭の人達に囲まれている父は、困ったようにうっすら笑っていた。 だが旅行から戻って少したつと、④父に変化が見られた。家を売り払ってマンションを買うと口癖のように言って の思惑は外れたようで、十日間のイギリス旅行から戻ってきた父に、特に変わった様子はなかった。「どうだっ いつしかそれを言わなくなった。そして私に隠れるようにして、何やら庭の雑草を抜いたりしていた。

たない英語で冷や汗をかきながら応対した。どうやら父がホストファミリーに写真を送ったらしく、そのお礼だった。

そして七月の最初の日曜日、一本の国際電話がかかってきた。父はちょうど買い物に出掛けていて留守で、私はつ

彼女はその家のおばあさんで、私が聞き取りやすいようにゆっくり話してくれた。

「あなたのお父様は大丈夫?」

彼女はそんなことを言った。元気なのかと聞かれたのかと思って、私はもちろん元気ですと答えた。

「彼は英語が話せなかったから理由が分からなかったけど、毎日夜になると子供みたいに大きな声で泣いていたのよ」 子供みたいに、というところを強調して彼女は言った。私は驚きに「dddを呑み、少し迷ってから、今年母が

亡くなったことを話した。遥か遠い国のおばあさんも言葉をつまらせ、そして泣きはじめた。

電話を切るとちょうど父の車が車庫に入ってくる音がした。私は慌てて涙を拭ったが間に合わなかった。

「なに泣いてんだ?」

父は私の顔を見るなり言った。どう言っていいか分からず首を振る。

「リコリスの球根買ってきたから、植えるの手伝え」

「……リコリスって?」

「彼岸花だよ。⑤お前もこの家に住むつもりなら、 少しは花のこと勉強しろ」

軽い足取りで、父はリビングのガラス戸を開いて庭へと出て行った。

\*ローラ

アシュレイ……イギリスのファッションデザイナー。

(山本文緒『庭』より)

 $\stackrel{\frown}{=}$  $\equiv$ <u>回</u> 選び、 ウ 1 T ウ T 選び、記号で答えなさい。 1 工 ごせばよいと、 もしない発言をしてしまったこと るのが当然だと決めつける発言をしてしまったこと。 これからは仕事に行く必要もないのだし、暇なら庭の手入れくらいしてほしいものだと、父の立場や気持ちを理解しようと これから長い時間をともに過ごすはずだった連れ合いを亡くした父に対して、これからはのこされた花の手入れでもして過 きだと、思いやりのない発言をしてしまったこと。 自分も花に興味などないのだから、 父は一時 父が悲しみを紛らわすために言っているのは明らかなので、落ち着きを取り戻すまで待とうと思ったから。 新しい環境の中で生きていかなくてはならず、 記号で答えなさい。 線 部 (1) 深く考えずに勢いにまかせて言ったことかもしれないので、答えるのを保留しようと思ったから。 線部② 線部① の気の迷いで言ったに違いないので、 「寒気」、②「間近」の読みをひらがなで答え、③「デマド」、④「キョウ」を漢字に改めなさい。 「私は曖昧に首を傾げておいた」とありますが、なぜですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ С 「失言」とありますが、 無神経な発言をしてしまったこと。 |d| に入れるのに最も適当な漢字一字の言葉を、それぞれ答えなさい。 庭仕事をしたがらない父の気持ちを理解できるはずなのに、 どのようなことを指していますか。 賛同して後悔することになってはいけないと思ったから。 余裕などないはずの父に対して、 その説明として適当でないものを次の中から一つ 庭仕事に取り組む心のゆとりくらい持つ 時間のある父が庭仕事をす

工

父の言っていることはおかしいとわかっていても、

説得して考えを改めさせるのは難しいと思ったから。

I ウ 1 ア 母がいかに私達を甘やかしていたか。 私達がいかに母に甘えていたか 私達がいかに母に感謝すべきであったか

工 母がいかに私達を大事にしてくれていたか

ウ ア 母の死を乗り越えよう お互いの時間を大事にしよう 力を合わせて生きていこう 母の思い出を大切にしよう

 $\Pi$ 

工

T 庭仕事にでも興味を持ってくれたら 再婚相手でも見つけてくれたら

工 この家を売り払うのをやめてくれたら 外国旅行への興味を持ってくれたら

 ${\rm I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$ 

(六) に入るひらがな三字の言葉を、 本文中からぬきだして答えなさい。ただし、

は本文中に二つあります。

- 16 -

	八		七
たったという変化。	字以内で適当な表現を補いなさい。 言葉から「父」のどのような「変化」が読み取れますか。それを説明した次の文の [i]、 [ii] に、それぞれ十二十二十級部④「父に変化が見られた」、⑤「お前もこの家に住むつもりなら、少しは花のこと勉強しろ」とありますが、この	エ 亡くなった妻のために時間を使った方が、あり余る時間もむだにならないと思ったから。ウ 妻が生前申し込んで楽しみにしていた旅行の予約金を、むだにしたくはなかったから。イ 亡くなってしまった妻が生前楽しみにしていた旅行について、夫として興味を抱いたから。ア 妻の好きだった花への理解を深め、自宅の庭の手入れをするのに役立てたかったから。	して最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。 ―― 線部③「俺が行ってこようかな」とありますが、「父」がこのように言ったのはなぜだと考えられますか。その説明と